

## 〈研修医たちの声〉

### 研修医（2年次）

西市民病院での初期研修についてですが、個人的には就職してよかったと感じています。院内の垣根が低いこと、多彩な症例が豊富であること、自分からやる気を出せば医療チームの一員として実践的に行動させてもらえることなど良い点は色々あります。

他の病院と比較するのは難しいですが、研修病院の規模としてはそれなりにどこにでもある300床程度の中規模病院ではありますが、研修のエッセンスはぎっしり詰まっており、アクティブに研修をしたいやる気のある方にはもってこいの病院だと思っております。

是非一度見学しにきてください！！

### 研修医（1年次）

みなさんは初期研修にどのようなことを望みますか？私が西市民病院を選んだ理由は第一に、研修医中心の救急外来のシステムが魅力的だったからです。私は大学時代に山荘に併設された夏山診療所で登山者のための診療活動を行うボランティアサークルに所属していました。診療所には限られた設備、薬剤しかありません。そんな状況のなか、専門にかかわらず診察する先生方の姿を見て初診の患者さんを診る力がいかに重要かを毎年、痛感していました。西市民病院の救急外来は1年目の4月からファーストタッチで多くの患者さんを診ることができるだけでなく、翌朝のカンファレンスで入院患者のプレゼンテーションを行い、様々な診療科の先生からフィードバックを受けることができます。最初の慣れないうちは非常に緊張しますが、回数を重ねるごとに力がついていることを日々実感しています。

第二の理由としては院内の雰囲気非常に良い点です。早い段階から即戦力として様々なことをやらせてもらえる、と聞くと自信のないうちから一人でほったらかしにされるのではないかと不安に思う方もいるかもしれませんが、実際そんなことは全くなく、各科の研修でも救急外来でも上の先生方がしっかりとフォローし、指導して下さるので安心して実践に臨むことができます。またコメディカルのみなさんも研修医の立場を非常に尊重して下さるので萎縮することなく、のびのびと研修させていただいています。

私は西市民病院と出会えて本当に良かったと思っています。百聞は一見に如かず、ぜひ一度見学にきて自分の目で確かめてみてください。

### 研修医（1年次）

私がこの病院を選んだ理由は2つあります。1つ目は先生同士の距離が近いことです。病院見学した際には大きな病院では考えられないような上級医の先生に直接指導していた

だけました。それは働き出しても同様に、上級医の先生方には毎日いろんなことをご指導いただいています。この病院ではしっかりと教育体制があると実感しています。

2つ目は、この病院はしっかりと人間性を評価してくれます。私は6年の夏まで部活をしていました。そこで培った経験を採用試験ではしっかりと評価していただきました。この病院では、出身校も年齢も関係ありません。何も気負いすることなく、当病院を受験していただければよいと思います。

### **研修医（1年次）**

西市民病院に勤務してまだ間もないですが、今感じていることはこの病院は救急対応や各種処置、研修医向けの講義など、研修医に対して様々な経験をさせてもらえるし、必要な知識、画像所見、先輩の経験談から学んだことなどをたくさん教えてもらえます。これほど密度の濃い日々を送れてこの病院で研修してよかったなと思います。

この病院を選んだのはこのように研修医に対して様々な経験をさせてもらえることが1番の理由で、実際勤務してみてそれを実感しています。本当に環境は非常に整っていると思うので、自分が興味、やる気を持って望めばどンドン力がついていくと思います。

またわからないことがあれば先生に聞くと親切に教えてくれますし、それもただ教えるだけでなく次に何をすべきか、までしっかり課題も与えてくれます。

まだまだ未熟でわからないことばかりですがこの病院でしっかり研修すれば必ず力はついてくると思います。みんなで西市民病院を盛り上げましょう。

### **研修医（1年次）**

西市民での研修の特徴は、診療科の垣根が低く、さまざまな先生に相談し、ご指導いただくことができる点が大きいです。教育熱心な先生が多く、やる気さえあればいろいろなことにチャレンジし、成長できる環境だと思います。研修医室の雰囲気もよく、研修医がお互い切磋琢磨できるよう心がけていきたいと思っています。

### **研修医（1年次）**

私がこの病院を選んだのは、見学の時の雰囲気よさ、救急外来での実践的な研修を魅力に感じたからです。実際に働き始めてみて、迷惑をかけることも多いですが、日々成長できていることを実感できています。各科の先生方も話しやすい方が多く、様々な角度から物事を考える力がつくと思います。毎週研修医向けのカンファレンスがあり、各科の先生方から実践的な内容も学べます。

研修の選択期間では、様々な選択肢があり、当院にない科は中央市民病院で研修することも魅力的です。中規模病院と大規模病院の二つで研修できることはいい経験になると思います。

2年間の研修のうちは大変なことも多いですが、やりがいのある研修病院であり、日々成長できる環境です。

### 研修医（1年次）

私がこの病院で働きたいと思った理由は2つあります。

一つ目は一次救急・二次救急でのプライマリケアに重点をおいた研修を送る事ができることです。救急外来当直では、幅広い症例に対しての初期対応を学ぶ事ができます。軽症例の中に隠れている重症例を見逃さないように、日々経験を重ねています。また、私はまだ経験していないのですが、中央市民病院との連携で、3次救急まで経験する事ができます。

二つ目はドクター、研修医の距離が非常に近い事です。どんなに忙しい時でも、快くコンサルトに答えてくださりますし、丁寧な指導を受ける事ができます。また仕事が終われば、いつでも気軽に飲みに来て行ってもらい、仕事の話からプライベートまで相談にのってくれます。

まだ研修が始まってから間もないのですが充実した日々を過ごす事ができています。みなさんと一緒に働ける事を楽しみにしています！！

### 歯科研修医

西市民病院の歯科口腔外科では、一般のクリニックで診療が困難な患者さんの治療を行っています。例えば、歯科治療恐怖症の患者さんの不安を取り除くために、静脈内鎮静下にて水平埋伏智歯を抜歯します。

また、各種画像診断や臨床検査機器を用いること、医科医療従事者の方から情報を得ることもできます。患者さんの全身状態を把握するのに様々なアプローチが可能であり、高度な治療を行うことができます。

入院下の手術は水曜日と金曜日に行います。水曜日にはインプラント埋入術・骨造成術・サイナスリフトなどのインプラント関連手術、金曜日には腫瘍摘出術・顎骨嚢胞摘出術・埋伏歯抜歯術・外傷の処置等の手術を実施します。

当科の特色は、火曜日の日帰り全身麻酔です。超短時間作動型の静脈麻酔薬を使用することで、迅速な覚醒と術後合併症の減少を図っています。埋伏智歯や小児の埋伏過剰歯の抜歯、嘔吐反射あるいは歯科治療恐怖症の患者さんへの歯科治療など、比較的侵襲の低い手術に行っています。

初めての臨床研修で何も分からないところからのスタートですが、指導医の先生方が一から丁寧に教えてくださいます。研修医の私は、齶蝕治療・根管治療・義歯作製・水平埋伏智歯抜歯術・全身麻酔下での手術など、毎日たくさんの経験をさせていただいています。このような恵まれた環境で研修できることに感謝しています。みなさんも是非、一度見学にいっしょってください。

## 後期研修医

4月から新しく後期研修医として働かせていただいています。非常に各科の垣根が低く「仕事がしやすい」という印象です。周りの先生方、看護師さんはじめコメディカルの方々もよく教えてくれますので、雰囲気もすごくいいと思います。

中規模病院という位置づけになると思いますが、後期研修医が多く、若手が元気よく働いているなあ、と勤め始めてから感じることが多いです。研修医はじめ、皆が良い意味で仲良しなので、より良い病院、チーム医療を実現できる病院だと思います。

僕は3年目から外から来た身なので、初期研修医のことは分かりませんが、傍から見て優秀な先生が多いと思います。それはもともと優秀というだけではないと思います。最初から手技をどんどんやらせてもらえたり、朝のカンファレンスで必ずフィードバックがあったりと育てる環境として非常に良い所だからでしょう。

一度半日でもいいので見学に来てみるといいと思います。来てみて「なんか違うな」と思うのもよし、面白いと思うのもよしです。

僕はここで2年いたら何ランクか上の医者になれる、そんな雰囲気を味わえると思いますよ。お待ちしております。

## 後期研修医

日常業務としては、病棟業務はもちろんのこと、外来も週1回担当させていただき、さらには日中、時間内の救急車受け入れを始め、院内のトリアージ、当直業務としての救急外来、ICU当直を担当させていただいています。私は、研修医時代から4年間お世話になっていますが、今でも勉強の日々が続いています。

「総合内科」の医師は、「臓器別専門思考」から脱却し、ひとりの人間としての患者様に興味を持っています。専門科医師も、「全人的医療」を目指して診療しているのですが、しかし、臓器別思考で訓練されていると、たとえば、患者様が「何となくしんどい」「倦怠感」「足がつる」「足がむくむ」「くるくるまわる」「胃が痛い」と受診してきたときに、どんな質問をすれば「心筋梗塞」ではないのか？「虫垂炎」の症状の始まりなのか？貧血は？心不全は？腎機能は悪くないか？と考えてしまいます。総合内科医は、患者様の訴えに謙虚に耳を傾けて診察しながら、偏りのないものの

見方で正しい診断に早く到達し、我流でなく、もっとも有効性の高いガイドラインにのっとり治療方針をたてます。でも、患者様の好みや都合があればそれを優先させ、決して押し付けはいたしません(医者として最善の助言はいたしますが、それを採用するかどうかは患者様に決定権があります。その結果を引き受けるのは患者様ですから)。

現代の医療はチーム医療です。当院の総合内科は部長以下、スタッフ一同、和気あいあい、非常に仕事がやりやすいといえます。他分野の専門家からの専門的助言を仰いだうえでバランスの取れた治療ができるからです。日本内科学会総合内科専門医、日本救急医学会専門医、日本呼吸器学会専門医、日本循環器学会専門医、日本消化器学会専門医、日本救急医学会救急科専門医、日本リウマチ学会リウマチ専門医、日本内科学会認定医、日本医師会認定産業医の資格をもつスタッフで幅広く総合的にとらえる診療を行っています。毎週行われるカンファレンスでも経験と最新のガイドラインに基づいて治療方針を決めています。一度、一日見学に来られたら当院の垣根の低い、コンサルトを取りやすい雰囲気があると思います。是非、見に来てください。

